



小坊主日記

Vol.5 春季号

「305日」

元旦、スマホから鳴り響く緊急地震速報。東日本大震災を思わせるような重い空気から今年は始まりました。

テレビに映し出される悲惨な光景を見て、多くの人々が心を痛めたと思います。

震災から3ヶ月が経ちようやく少しずつですが北陸の復興状況がテレビ越しに伝わり始めました。

今年で阪神淡路大震災から30年、中越地震から20年、東日本大震災から13年、熊本地震から8年、

日本では10年以内に一度のペースで大きな被害をもたらす地震が発生しています。

先日、友人に誕生日が震災の日に重なりその後、素直に祝えなくなってしまうたと相談を受けました。

私は友人に気の利いた言葉をかけることができませんでした。その日が誕生日の人やその人にとって特別な日に自然災害が起こってしまうのは

予期せぬことです。

仏教には「一日一生」という言葉があります。

今日一日の中に誰かの一生分の人生の全てがある、生まれてから最後旅立つ日までの全てが今日一日

の中にあるということです。

今日が誕生日の人もいれば、今日が命日の人もいます。毎日が誰かにとって大切な日です。そんなことをふと頭の片隅に入れて日々の日常に感謝して生きてみるのも良いかもしれません。

「お彼岸って何？」

3月の春彼岸、9月の秋彼岸。

春分の日、秋分の日を中日とした前後3日間、計7日間ずつが期間とされています。

この期間にご先祖様が霊山浄土の世界から今世に戻ってくる期間であり、亡くなられたご先祖様が

いる世界と私たちがいる世界の距離が最も近くなる期間です。

この時期にお墓参りすなわち先祖供養をすることでご先祖様により思いが伝わるとされています。

この期間はお参りするだけではなく私たち自身も「六波羅蜜」と言われる修行をすることが大切です

六波羅蜜の修行

- ①布施.. 他人のために惜しみなく善行を施す
- ②持戒.. 他人に迷惑をかけないこと
- ③忍辱.. 災いを受け容れ、耐えしのぶこと
- ④精進.. 誠心誠意努力を続けること
- ⑤禅定.. 常に静かな心を持ち動揺しないこと。
- ⑥智慧.. 怒りや愚痴、貪りに捉われず、物事の真理を正しく見極めること。

お彼岸は先祖供養をすると共に左記のことを意識してみましよう！

お墓参りの方法

- ① 寺院境内の墓地の場合、本堂正面に手を合わせてからお墓に行きましょう
- ② 水屋にて自分自身の手を洗い、手桶に水を汲みお墓に行きます
- ③ 掃除の前にお墓の前で合掌します
- ④ 敷地内の掃除をしましょう
- ⑤ 墓石を洗います
- ⑥ 花立の水を換えて花を生ける
- ⑦ 水鉢にきれいな水を入れる
- ⑧ お供え物を置く
- ⑨ 線香をあげて合掌する

お供え物

お線香・生花・お菓子や飲み物

(お菓子や飲み物は鳥がお墓を荒らすのでお参りが終わったらお持ち帰りください)

掃除用具 ※全てお寺にあります。

毛の柔らかいブラシや柔らかいスポンジ
タオルや雑巾(2,3枚)・ゴミ袋

※一例ですので決まった方法はありません。お墓参りに来て、手を合わせることが一番の供養になります。何かの節目やお時間ある時にお参りしましょう。

檀家の皆様へお願い

○来寺での法事予約は平日を除き土日の午前10時～午後1時までのご遠慮ください (※法事対応のため、接客できないことがあります)

○午後6時～午前7時までの電話は緊急時以外お控えください

(住職にも家庭がありますのでご協力お願いいたします)

○来寺受付は午前8時半～午後5時までとさせていただきます。

お知らせ

○妙行寺ホームページを開設しました。

最新のお知らせや行事等載せていますのでぜひご覧ください。

○信行会募集について
妙行寺では信行会(お経を読む会)のメンバーを随時募集しています。

気になる方がいましたらお参りの際にお尋ねください。

石川県能登半島沖地震の寄付について

今回の地震で北陸の日蓮宗寺院も大きな被害にあいました。妙行寺ではお賽銭やお正月に皆様から頂いたお布施を全て、北陸地方に寄付させていただきました。

また、客殿に義援金箱を設置していますのでお参りの際に合掌ご協力いただければ幸いです。